

## 作業手順の必要性と定義セミナーのご案内

1. **研修の目的。** 業務を安全に進めるには、転落や墜落する危険のあるところに柵を設けたり巻き込まれたり、はさまれたりする危険のあるところに安全カバーを付けたり危険な個所に手をいれると機械が自動的に停止したり、インターロックなどによって誤った操作が出来ないようにするなどフルプールの安全対策によって作業者が錯覚やウツカリ・ボンヤリなどの不注意をしてもけがをしないように、設備や作業場所をより安全な状態にしておかなければなりません。作業標準とは良い品質の製品を、安全に・安いコストで能率よく作るためのです。経験豊富な講師が作業標準の基礎から応用まで解りやすく説明します。社員様のスキルアップにぜひお役立てください。
2. **受講対象者** 経営者・管理者・一般社員
3. **受講者数** 30名様以内
4. **カリキュラム**

| No. | 時間          | 内容  |
|-----|-------------|---|
| 1   | 8:30-10:00  | 作業標準の必要性<br>1 設備や環境の安全対策を優先する<br>2 安全な作業方法をきめて実践する                                  |
| 2   | 10:15-12:00 | 作業手順とは<br>1 いろいろな名称<br>2 作業手順・作業マニュアル・作業指導票   |
| 3   | 13:00-14:30 | 作業の構成と作業手順作成の対象作業<br>1 仕事の分業<br>2 作業の構成<br>3 作業手順における作業の単位<br>4 リスクアセスメント記録を取り入れた様式 |
| 4   | 14:45-16:00 | 作業手順書作成演習<br>記入例・チェック項目と着眼点・分析・検討・記入<br>グループ発表<br>質疑応答                              |

### 5. 講師

株式会社テックス コンサルタント中林 剛志

【専門分野】 機械工学、ソフトウェア開発

【資格】 ISO9000 IRCA 登録主任審査員

ISO14000 IRCA 登録主任審査員

IPA QMS コンサルタント研修修了

【コンサル実績】 建設、ゴム、プラスチック製品、基礎金属・加工金属製品、リサイクル、電気・光学機器、木材・木製品、輸送・倉庫・通信、機械・装置、卸売・小売業、水道、エンジニアリング・研究開発、その他専門的サービス、その他



### 6. 研修費用

お問合せください